

IR DAY 2020

MinebeaMitsumi
Passion to Create Value through Difference

セブ工場のご案内

2020年12月3日

CEBU MITSUMI, INC.

President

坂主 克浩



1 フィリピンオペレーションとセブ工場の概要

2 部品加工概要

3 カメラ用アクチュエータ概要

4 生産設備開発体制

1 フィリピンオペレーションとセブ工場の概要

- ・ フィリピン3工場のご案内
- ・ フィリピン・セブにおける事業運営上の利点
- ・ セブ工場の概要
- ・ 新型コロナ対策

フィリピン3工場のご案内



MITSUMI PHILIPPINES, INC.

(バタン工場)

創立 : 1980年
総人員 : 3,751名(2020年11月末)
製品 : コイル、ACアダプタ、
高周波モジュール等



MINEBEA PHILIPPINES, INC.

(バタングス工場)

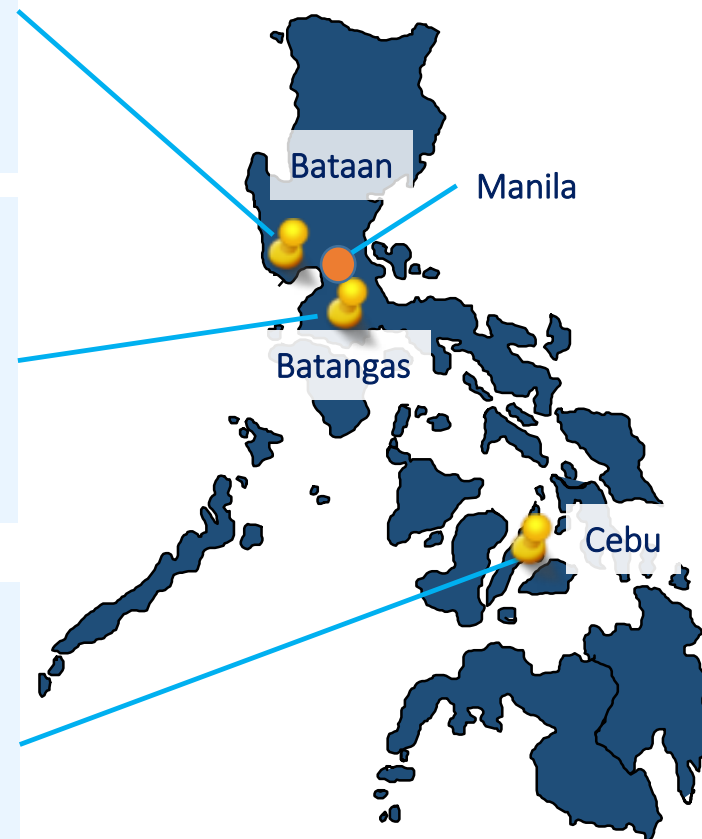
創立 : 2015年7月
総人員 : 935名(2020年11月末)
製品 : 電子モーター各種



CEBU MITSUMI, INC.

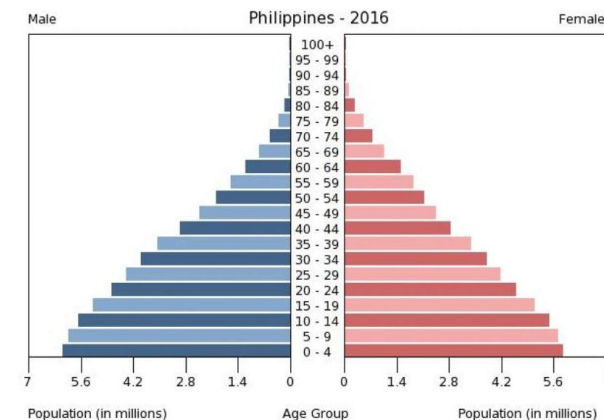
(セブ工場)

創立 : 1989年1月
総人員 : 19,908名(2020年11月末)
製品 : カメラ用アクチュエータ、
コネクタ、半導体パッケージ



フィリピンにおける事業運営上の利点

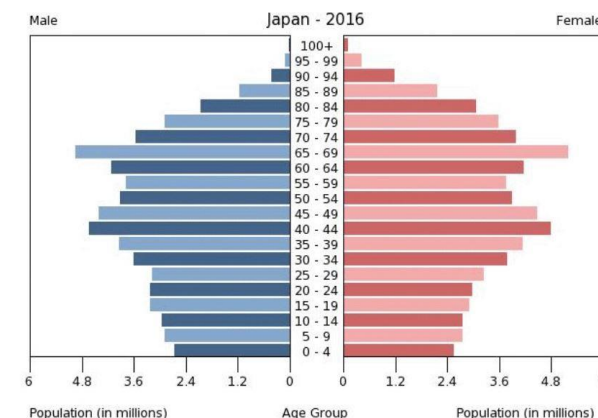
1. 若く優秀な労働力が確保できる
2. 労働力が安価である



年齢別人口構成 (フィリピン)

セブ島における事業運営上の利点

1. 従業員の確保が容易な立地
2. 離職率、欠勤率が少なく、安定した生産が可能
3. 国際空港/港湾へのアクセスが容易



年齢別人口構成 (日本)

セブ工場の概要



新型コロナ対策

感染者を入れない



三重検温体制

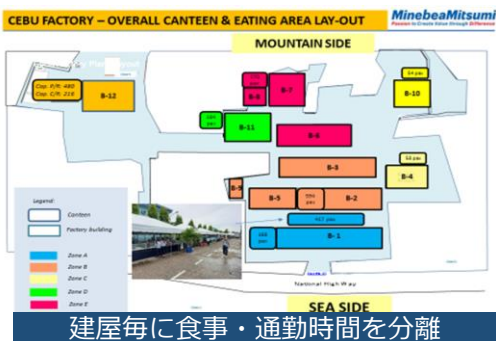


工程間仕切の導入



トイレの2時間毎の消毒

混雑の緩和



建屋毎に食事・通勤時間を分離



食事後の特設休憩エリア



監視員の配置により社会的距離確保

地域貢献活動等



N95マスク・生活物資の寄付



地域社会啓蒙活動



専用クリニックを設置運用

2 部品加工概要

- ・ 主要生産設備
- ・ 生産性改善への継続的な取組
- ・ 主要製品の部品内製化

主要生産設備



アクチュエータ用高速プレスライン



アクチュエータ用成形ライン



アクチュエータ用バレルめっきライン



コネクタ用インサート成形ライン



コネクタ用成形ライン

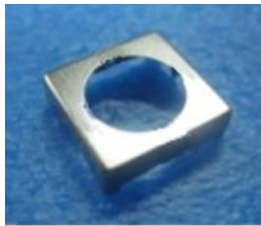


フープめっきライン

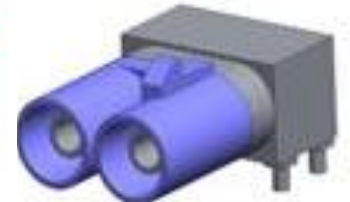
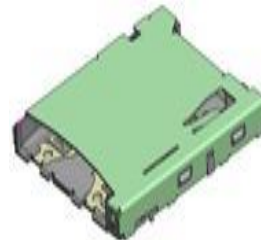
主要製品の部品内製化

部品の内製化率を高め、製品事業部へコスト面と短納期で貢献

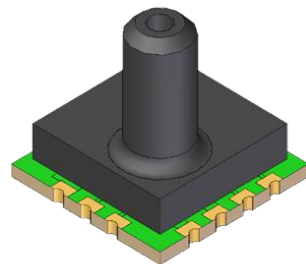
カメラ用アクチュエータ部品



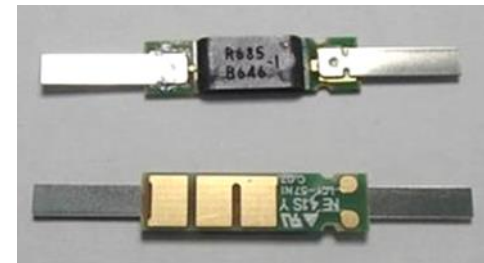
コネクタ用部品



MEMSセンサー用部品



電池モジュール用部品



3 カメラ用アクチュエータ概要

- ・ カメラ用アクチュエータについて
- ・ 生産方式について
- ・ 今後の動向

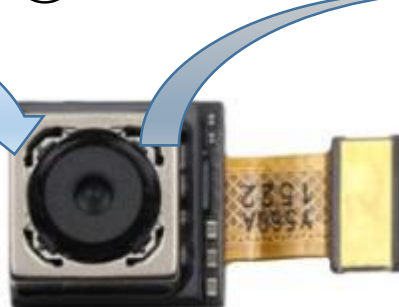
カメラ用アクチュエータについて

①



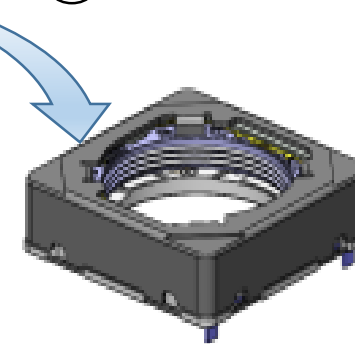
携帯電話

②



カメラモジュール

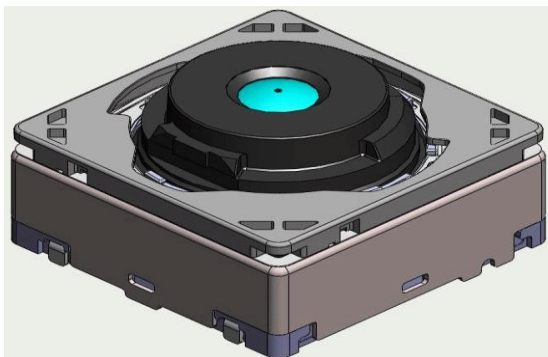
③



アクチュエータ

オートフォーカス (AF)

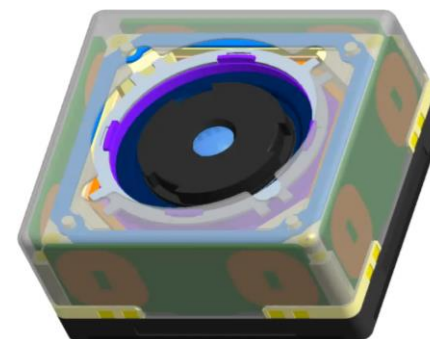
④



Z方向 動作

手振れ補正 (OIS)

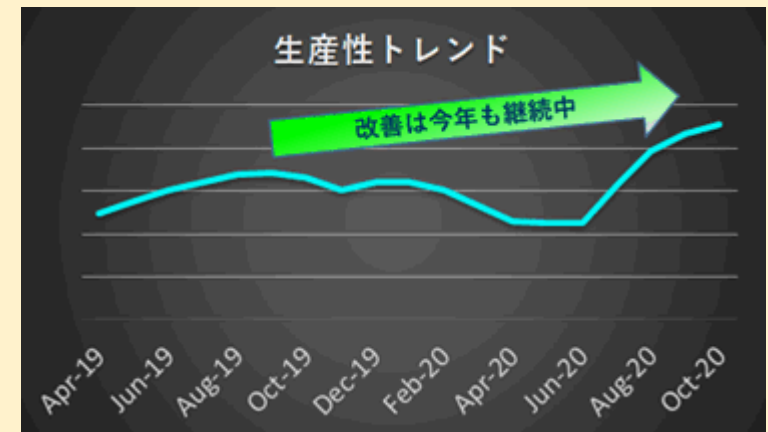
⑤



X,Y,Z方向 動作

今後の動向

1. 生産性改善による能力アップで受注を拡大
2. 製造リソースの効率最大化によるロスの削減
3. カンボジア工場での生産拡大も継続
4. 市場要求に合致した新製品開発を継続
5. 更なるマーケットポートフォリオ改善で前年度以上の売上げ増と利益UP



4 生産設備開発体制

- ・ 生産設備開発部門について
- ・ 今後の方向性

設備開発部門概要

1. 2020年の新規導入・仕様変更した設備の60%が、工場内の開発・組立て設備。
2. 安価で良質な生産設備を短期間で納入、製造部門の生産性改善に大きく貢献。
3. 頻繁なモデル変更にも設備開発部門が柔軟に対応、既存資産を無駄なく仕様変更。

設備開発チーム 合計約80名

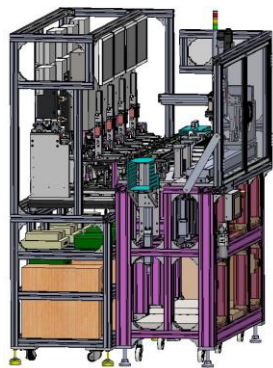
分野	業務内容
ソフトウェア開発者	制御・システムソフト開発 画像処理ソフト開発等
メカニズム設計者	構造設計 筐体設計
回路設計者	計測回路設計・制御回路設計 インターフェース設計



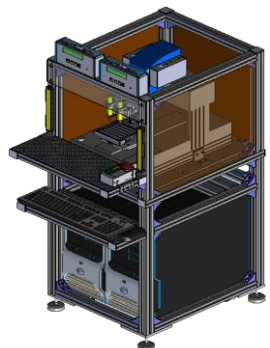
設備開発状況

設備導入例と今後の方向性

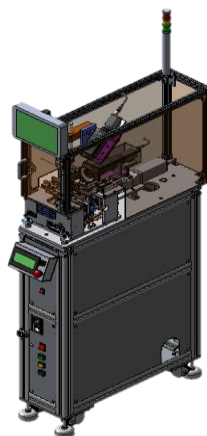
設備導入例



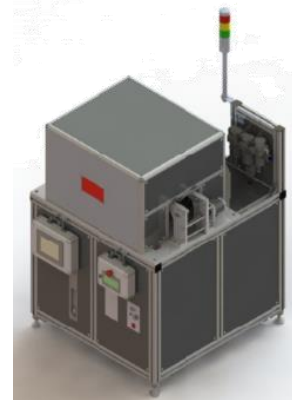
部品搭載機



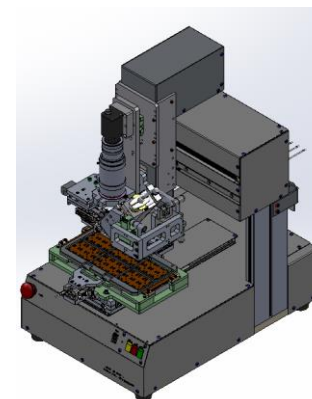
電気特性測定機



外観検査装置



レーザ描画装置



樹脂塗布装置
(モジュール)

今後の方向性

1. 新規設備の内製化率90%以上を目指す。
2. 作業者に頼っている高度な目視検査工程を、安価に自動化する。
3. 生産設備開発に留まらず、自工場に最適な生産監視システムの構築を目指す。



当資料で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。本資料に掲載のあらゆる情報はミネベアミツミ株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。